

## 複合材料応用研究センター報告の発刊にのぞんで

金沢大学工学部長 喜 内 敏

複合材料研究報告 I は本工学部より、既に昭和48年7月に発刊され、その後II、IIIと引き続き出版された。

複合材料応用研究センターが昨年4月金沢大学共用の研究センターとして発足し、この度同センター報告が発刊されることになった。

本学においては、複合材料関係の研究は医学部、理学部、工学部等の研究者によって、緊密な連携のもとに、研究推進が計画、実行されている。

近代複合材料は、グラス繊維強化プラスチックが先駆となり、その後粒子強化や繊維強化によるすぐれた複合材料の出現をうながし、新しい材料や成形技術が開発されてきた。今後さらに各種材料の特性を生かし、その組み合わせ物性の開発へと拡大されることが予想される。

複合材料の研究は未開の学際的領域を多く含み、将来新しく開発を大いに囑望される重要な分野である。

本研究報告が関係方面に広く利用され、なお複合材料の今後の研究発展に多大な貢献を期待するものである。